

藩翰譜

八下

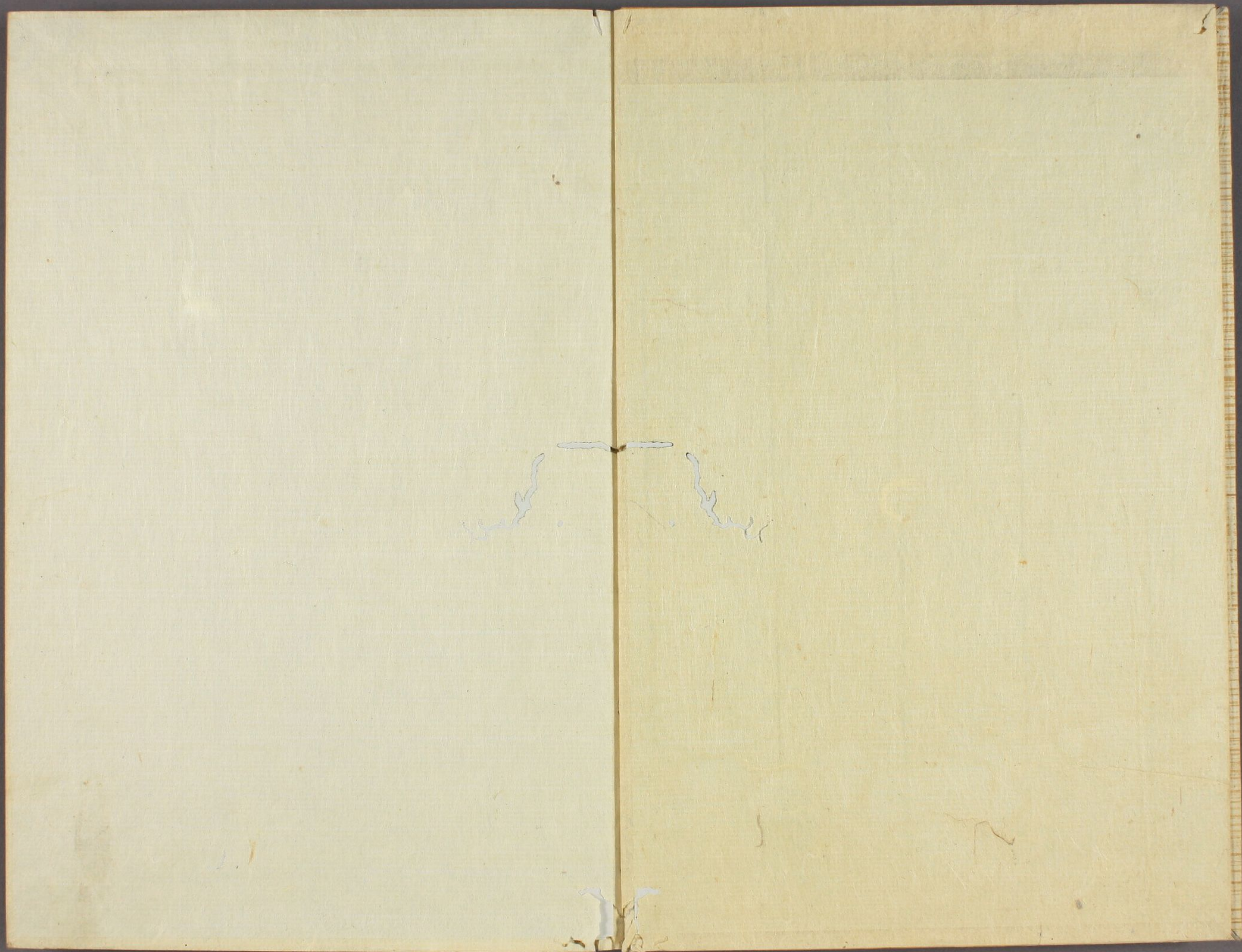
伊地知文庫

文庫20

382

11





初めに... (Right page text) ...
 ...
 ...

我の... (Left page text) ...
 ...
 ...

礼の事入未多く高きと云ふ。 此の事は唐書にありて唐の武宗の

再の軍勢と一かたは中州三藩と二藩の凶徒と云ふ事

帝弟と云はれしはそれとて中州はそれのまじりて

なれたる三藩の事と云ふ事とて元永九年三月廿日奉

一 三藩の事と云ふ事とて唐の武宗の 天子はあはれ定めて又は元永九年

三月廿日奉一 唐の武宗の 天子はあはれ定めて又は元永九年

三月廿日奉一 唐の武宗の 天子はあはれ定めて又は元永九年

三月廿日奉一 唐の武宗の 天子はあはれ定めて又は元永九年

三月廿日奉一 唐の武宗の 天子はあはれ定めて又は元永九年

三月廿日奉一 唐の武宗の 天子はあはれ定めて又は元永九年

三月廿日奉一 唐の武宗の 天子はあはれ定めて又は元永九年

三月廿日奉一 唐の武宗の 天子はあはれ定めて又は元永九年

元永九年三月廿日奉一 唐の武宗の 天子はあはれ定めて又は元永九年

元永九年三月廿日奉一 唐の武宗の 天子はあはれ定めて又は元永九年

山家集

昔は西平日麻の相本なるの正長は其府の軍陣をも
自は朝臣の孫世英たむにおもひのり中在権は其を別
遣半の代のは風をり一あのははを其府の軍を其義例に
あつたふは其代官の任もて中在権の事との言ひは人
しあるに中在権こそその名年ありけりまこてはるる島本は其
九年まき又親海あまの親海は其の任まき九年まき又其あまの
嶋の輝あまの兄あまのと十年まき又其海は其あまの中在権の
ちと其あまの親海あまの親海は其の任まき七年七月日あまの海
其あまの十年まき又其海は其の任まき九年天正八年のまき又其
國のま其の代官は其の任まき九年天正八年のまき又其
正三年のま其の代官は其の任まき九年天正八年のまき又其

常陸守の御前よりしりあ入白石御持寄る増田右衛門守道
 にはあつ平の末孫なり奉と頼家にて後をいれ佐竹
 左衛門守重より三男能代丸奉りあつあれらと仰う左衛門
 世にせ入奉とあるをきかあつはる一とあつていふは
 みりあつあつてつね國やあつらつりあつては能代丸
 たりて奉り向ひ入奉りて建保甲辰の御時と云々
 uring これよりあつては常陸守の御前 あつては能代丸 あつては能代丸 あつては能代丸
 徳川家の御前よりしりあ入白石御持寄る増田右衛門守道
 の御前よりしりあ入白石御持寄る増田右衛門守道の
 ぬふえあつ奉十月廿九日平の女より一奉りあつては能代丸
 兄の佐竹・世にせ入奉りては能代丸は也三男能代丸
 左衛門守重より三男能代丸奉りあつあれらと仰う左衛門

左衛門守重より三男能代丸奉りあつあれらと仰う左衛門

と名づくる 其の由は此の所の事なるに由るなり... (The text on this page is a handwritten note or entry, starting with "と名づくる" (named after). It discusses various geographical locations and historical or administrative details, written in a cursive style. The text is dense and fills most of the page.)

と名づくる 其の由は此の所の事なるに由るなり... (This page contains a large block of handwritten Japanese text, continuing the style of the previous page. The characters are written in a fluid, cursive hand. The text appears to be a continuation of the geographical or administrative notes from the previous page, though the specific content is less legible due to the script.)

柳田のハハハハハハ

奥州十津川... 柳田のハハハハハハ

作事... 柳田のハハハハハハ... 柳田のハハハハハハ... 柳田のハハハハハハ...

柳田のハハハハハハ... 柳田のハハハハハハ... 柳田のハハハハハハ...

事おぼやかし
書りて見し人の
解りて見し人の
父の遠方の半一
入るは命の半一
十
解りて見し人の
父の遠方の半一
入るは命の半一
十
解りて見し人の
父の遠方の半一
入るは命の半一
十

りて見し人の
父の遠方の半一
入るは命の半一
十
解りて見し人の
父の遠方の半一
入るは命の半一
十
解りて見し人の
父の遠方の半一
入るは命の半一
十

母のついでに
解りて見し人の
父の遠方の半一
入るは命の半一
十

三友堂

